

電子音響 立寄り プロジェクト 2016@SAITAMA

DENSHI
ONKYO
PEOPLE
PROJECT

電子音響ピープルプロジェクト 2016@SAITAMA

電子音響ピープルプロジェクト

電子音響ピープルプロジェクトは、これまでSMFが実施してきた「MOMASサウンドモニタージュワークショップ」の拡充版として位置づけられます。単にワークショップを実施することと異なるのは、参加者と主催者がワークショップの事後にも緩やかに関係性を築いていけるような動的な実施を試みている点です。

その背景には、教育・普及活動の枠を越えたワークショップを実施する新たな目的を、少しでも多くの人々がアートを創る側に立っていいのではないだろうか、という、創造的なフィールドをアーティストと参加者とが共創していくことはできないだろうかという視点に立ったSMFの模索があります。

また、これまでの「サウンドモニタージュワークショップ」では、広報努力にもかかわらず、参加者を一定数以上得るのが困難だった反面、参加していただいた方々には一様に好評だったことを省み、このワークショップに参加する楽しさを当事者以外の人々にどのように伝えるかということ、参加後も楽しさを継続してもらうための仕組みづくりの両方を考慮しました。

その結果、ワークショップの講師陣にベテランのプロアーティストを迎え、ワークショップ後に参加者とプロアーティストが共同制作作品を完成させることを軸とし、ライブでの発表やCDの制作という動的な流れの全体を共有し、参加者と主催者の緩やかな関係性を維持していくことを目指しながら、プロジェクト型のアートとして提案していくこととなりました。この企画は、2015年度に「電子音響ピープルプロジェクト2015-2016」としてSuperDeluxeの支援により1年間の準備期間を経て、今年度SMF主催として「電子音響ピープルプロジェクト2016@SAITAMA」が実現しました。

電子音響ピープルプロジェクト2016 @SAITAMAワークショップ

7月10日(日) 牧禎舎(行田市)
7月24日(日) 埼玉県立近代美術館講座室
8月7日(日) 市民会館おみや

2016年度には由雄正恒さん、高野大夢さん、生形三郎さんを講師として招き、計3回のワークショップを実施しました。牧禎舎でのワークショップはSMF運営委員の野本翔平さんの協力のもと、由雄正恒さんが講師をつとめました。続く7月24日に埼玉県立近代美術館講座室でのワークショップと8月7日の市民会館おみやでは、それぞれ高野大夢さんと生形三郎さんが講師をつとめました。市民会館おみやでは、後の改装を経て、9月からさいたまリエンナーレ「SMF学校」の会場として使用予定の会場での実施であり、同リエンナーレ事務局のご協力をいただきました。

これまで「MOMASサウンドモニタージュワークショップ」と銘打ったワークショップだったため、基本的に埼玉県立近代美術館を出ての活動はありませんでしたが、名称を変更したことによって、どこでも気軽に実施することができるようになったことを実感しました。3回のワークショップの事後には、それぞれの会場の講師を担当したプロアーティストが、参加者の完成作品や音響素材を用いて共同制作作品を仕上げました。由雄さん、高野さん、生形さん、それぞれの個性が反映された共同制作作品が完成し、11月末のスペシャルライブでお披露目をしました。

MOMAS空間音響ライブvol.5 電子音響ピープルプロジェクト2016 @SAITAMAスペシャルライブ

11月26日(土)・27日(日) 埼玉県立近代美術館 講堂

このライブコンサートは、埼玉県立近代美術館内に16本のスピーカーから構成される「アコースモニウム」を設営し実施しました。プログラム構成は、2016年度に実施した3回のワークショップでの共同制作作品のほか、8月9日に行田市立長野中学校、11月6日に「SMF学校」でそれぞれ実施したワークショップでの林文彦さんによる共同制作作品、2015年に実施した電子音響ピープルプロジェクトでの共同制作作品、昭和音楽大学、女子美術大学、東京電機大学の学生による共同制作作品、そして新たに並木隆明さんに委嘱した、2012年度に実施した「MOMASサウンドモニタージュワークショップ」の共同制作作品の初演も行いました。

両日とも、プロアーティストの作品を上演するステージを設け、ワークショップでの共同制作を担当していただいた林文彦さん、高野大夢さん、生形三郎さん、由雄正恒さん、並木隆明さん、のほか、仲井朋子さん、森威功さん、前田康徳さん、小坂直敏さん、成田和子さんといった第一線で活躍中のベテランピープルがかけつけて下さり、ライブを盛り上げていただきました。また、両日とも、これまでのMOMAS空間音響ライブを支援し続けてくださった音楽学者の沼野雄司さんを司会にお招きし、今後の「共創的フィールドの共創」をどのように継続し活性化していくかについてのトークも交えた二日間でした。

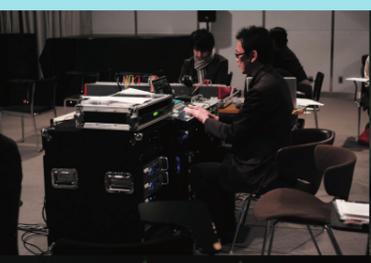
柴山拓郎(運営委員)



牧禎舎でのワークショップ



スペシャルライブの様子



市民会館おみやでのワークショップ

- 参加者数
- ・牧禎舎でのワークショップ(7月10日)
参加者:19名(参加者:13名、講師:2名、スタッフ:4名)
 - ・埼玉県立近代美術館でのワークショップ(7月24日)
参加者:20名(参加者:14名、講師:2名、スタッフ:4名)
 - ・市民会館おみやでのワークショップ(8月7日)
参加者:28名(参加者:20名、講師:2名、スタッフ:6名)
 - ・スペシャルライブ(11月26日~27日)
参加者:計110名



埼玉県立近代美術館でのワークショップ

